ありあけかい の り 有明海の海苔そして競合関係にある赤潮との関係

講師:佐賀大学農学部、生命機能科学コース准教授、木村、生さん

2024.**2.24** (±) 13:30~15:00



会場:東よか干潟ビジターセンターひがさす

対象:有明海の環境に興味のある方

定員:25名程度 ※参加決定者には連絡します。

(応募者多数の場合は抽選)

申込期限:2月16日(金) 参加費:無料

【講演内容】

有明海で盛んに養殖されている海苔。海苔の価値は、主にその色を基本にして決められている。一方で、有明海で発生する赤潮は、海域の栄養不足を引き起こし、結果的に海苔の色が淡くなる「海苔の色落ち」が発生する。では、色落ちが起こることで、なぜ海苔の価値が低下するのか?また、どのような赤潮原因生物が関係しているのか?についてはどれほど理解されているだろうか。本講演では、色落ちした海苔の細胞で起こっている現象、そして海苔の色落ちを引き起こす赤潮原因プランクトンについて紹介します。

【講師プロフィール】

植物プランクトンや海藻といった「藻類」と呼ばれる生物の研究に従事。

学生時代はコンブやワカメといった海藻の受精などを研究し、2011年からは、水産総合 常研究センターの瀬戸内海区水産研究所(現在の水産研究・教育機構出自市庁舎)で、赤潮 に関する研究をおこなってきた。

2015年に佐賀大学に着任してからは赤潮に関して研究してきたが、2017年からは海藻 研究も担当できることを活かしノリに関する研究にも着手した。現在は、有明海の藻類であるノリ、そして植物プランクトン(赤潮)に関する、幅広い研究に取り組んでいる。



問合せ先・申し込み 東よか干潟ビジターセンター ひがさす 〒840-2222 佐賀市東与賀町田中 2757 番地 4 電話: 0952-37-0515

> FAX: 0952-37-0548 mail: higasasu@city.saga.lg.jp







▲インスタグラム